

二十歳おめでとうございます

8月15日(火)第68回坂城町二十歳のつどいを坂城テクノセンターにて開催しました。

これまで「坂城町成人式」として開催していたものですが、2022年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、「二十歳のつどい」と名称を変更して開催しました。

町内では、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの154名が20歳を迎えており、そのうち112名の皆さんが式典に出席されました。

町長、副議長からお祝いの言葉をいただき、恩師の3名からは当時の思い出を振り返りながら期待と励ましの言葉が贈られました。

二十歳を迎えられた皆さんのますますのご活躍とご多幸をお祈りしています。

第68回 坂城町二十歳のつどい

実行委員会

代表挨拶



丸山 和真

本日は、私たちのために、このような盛大な成人式を挙行いただきまして、誠に有難うございます。

また、ご多用の中、多くのご来賓の皆様にご参列をいただきましたこと、そして、山村町長様はじめ中嶋副議長様、皆様よりお祝いと激励のお言葉を頂戴しましたこと、新成人一同、深く感謝を申し上げます。

生まれ育ったここ坂城町の地において、コロナがほぼ明け、万全の状態で、共に過ごしたかけがえのない仲間と共に、今日の日を迎えられましたことは、私たちにとりまして、この上ない喜びでございます。これ

もひとえに、今日まで、どこまでも深く限らない愛情をかけて育ててくれた両親や家族、人生の根っことなる幼少期から青年期にかけて、多感な私たちを支えてくださった人生の師である先生方、また温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげと心より感謝をいたしております。

私たちは、人生の中で沢山の選択と決断をする大事な時期をここ坂城町で過ごしました。その過程で、コロナによって制約と断絶を余儀なくされ、私たちの青春は、完全にコロナに持っていかれてしまいました。追いかけていた夢も、掴もうとしていた希望も潰え、悔しい涙を流した日もありました。でも、私たちは、両親や多くの方たちに支えられ、再び立ち上がり、夢に向かって頑張ろうと新たな一歩を踏み出しています。

す。

今、アメリカのメジャーリーグで活躍をしている大谷翔平選手の名言で、「悔しい経験がないと嬉しい経験もない」という言葉があります。悔しい経験をした私たちは、その悔しさをばねに自分たちの努力次第で、それを何十倍も超越できるほどにこれからの人生を楽しむ、喜びを享受できるはずです。

また、大谷翔平選手が十七歳の時に書いた「人生の目標シート」の中に、「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生を作るんだ。」という名言があります。まさに、私たちは、自分の夢が、これからの自分たちの輝かしい人生を作っていくはずであると信じ、自らの可能性に挑戦を続け、飛躍していききたいと思っています。

私は、高校卒業後、大学進学のため東京に出て、初めて故郷を離れました。東京で暮らす日々の中で、我がふるさと坂城町への郷愁に駆られる時があり、故郷への思いを再確認することがあります。



今日の日を契機に、私たちは立場は違えども、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、坂城町出身であることを誇りに思い、しっかりと社会に貢献できる、育ててもらったこの町に恩返しができる、責任ある大人になれるよう努力を続けていく覚悟です。

如何せん、未熟な私たちでありますので、今後とも皆様方にはご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、今日まで育ててくださった両親や家族、恩師である先

生方、多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、しっかりと生きていくことを誓いつつ、本日の式典の為に尽力いただいた関係者の

方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます、新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。



記念写真 1組



記念写真 2組



記念写真 3組



記念写真 4組



記念写真 5組

**実行委員の皆さん
ご協力ありがとうございました。**

(実行委員長)

丸山 和真さん
佐藤 菜月さん
錦澤 歩花さん
宮本 羽ノ夏さん
荒井 日菜多さん
深町 音羽さん
望月 佳乃さん
青木 悠悟さん
竹内 萌夏さん
長岡 凜さん
宮下 晃毅さん
鈴木 陸渡さん
宮下 華乃さん
宮原 未稀さん

500字リレートーク 御朱印めぐり

沓掛 里佳

コロナウィルスが猛威を振るう前に、御朱印を集め始めた。県内外の神社で色々な御朱印に巡り合えた。最初にゲットしたのは、富山県高岡市の国宝高岡山瑞龍寺である。前田利長公を祀った大きな立派な寺院だった。御朱印はとても立派で最初という事もあり私はテンションMAX！ご利益がありますようにと大事にしようと思った。その日は高岡御車山祭りが開かれており、勇壮かつ優美で煌びやかな山車が並んだ姿は圧巻だった。

間を置かずに名古屋に乗りこみ、名古屋城や大須観音そして熱田神宮で御朱印をいただいた。「え？」ある有名な神社でいただいた御朱印はハンコがボンと押され、参拝した日を書いてあるだけだった。「それはないだろう！」とちよつとがっかり！納得できない私はなんとそこから伊勢神宮内宮の御朱印を求めた。そこは日本を代表する神宮であ

る。期待に胸を膨らませ御朱印を求める長蛇の列に並んだ。そしてもちろん参拝もした。天照大御神をお祀りしている神宮。凜とした美しいたたずまいと、降ってくるような木漏れ日にくつもの古きゆかしき建物が神々しかった。御朱印が縁でここまで来たが、心が洗われるようであった。

その後は近場を巡った。北向観音・安楽寺・常楽寺……。近くにも沢山すてきな場所がある事を改めて思った。

「御朱印でめぐる東信濃の社寺」というフリーペーパーを見つけた。今度は近場で御朱印巡りをしたい。次は、吉沢広子さんにお願いします。

